

## 訃報

学会共同代表の一人である田中昌人先生が、先月 18 日にお亡くなりになりました。「死後 1 ヶ月間は公表しない」というのが先生のご遺志でしたが、本日、公表されました。大学評価学会としても、会員および関係者にご報告する次第です。

田中昌人先生は、大学評価学会の設立に向けての呼びかけ人として中心的な役割を果たされ、昨年 3 月 28 日の学会設立大会では共同代表に選出されました。先生は学会全体の民主的な運営にご尽力され、学会の基礎づくりに多大な貢献をされました。また、2006 年問題特別委員会委員長としても大きな役割を果たしてくださいました。

さて、本日、大学評価学会 2006 年問題委員会も共催するシンポジウム「日本の高学費をどうするか 『無償教育の漸進的導入』の理念と 21 世紀における日本の教育 」が開催されます。このシンポジウムのテーマは、田中昌人先生の遺著である『日本の高学費をどうするか』からいただいたものです。先生の問題提起は今、大きな広がりをもった運動として展開されようとしています。

2 年前の 11 月頃から、大学評価学会の設立に向けた議論が始まりました。それからの短い間でしたが、田中昌人先生は、私たちの学会を力強く牽引してくださいました。先生のご冥福を心からお祈りいたします。

2005 年 12 月 22 日 大学評価学会事務局